地域社会との
パートナーシップの促進

社会貢献と環境保護の観点から地域社会とのパートナーシップを重視しています。私たちだけで解決できない社会課題があることを自覚し、地域住民の方々や自治体・地元企業などと協働することで地域振興に向けた施策にも取り組んでいきます。

1 パートナーとの協業による地域経済の活性化

人や街と繋がり、共創していく「PLUS DESIGN CROSS」

2022年12月、プラス株式会社 ファニチャーカンパニーは、オフィス家具事業の本部拠点を恵比寿ガーデンプレイス（東京都渋谷区）センタープラザ2Fへ移転し、「PLUS DESIGN CROSS」（→P.17）をオープンしました。新型コロナウイルス感染症をきっかけに生活様式が変わり、家とオフィス、生活と仕事の境界が曖昧になってきた中、オフィスの存在意義が問われています。「PLUS DESIGN CROSS」は、単純に業務を行う場ではなく社内外のあらゆるステークホルダーと積極的に繋がりを持ち、企業活動と社会活動の拠点となる新しいオフィスの形として、多様なパートナーとの共創活動を展開していきます。

オフィス内は恵比寿ガーデンプレイスを象徴するアーチ形状をデザインモチーフとして採用することで、街との繋がり・調和をイメージしています。共創活動の場を表現するエリアとして設けたオフィス中央の「SALON（Creation space）」には、森をイメージしながら日本の各地で育った多品種の木々を配置。多様なアイデアを育み、新たな価値創造を目指す共創活動の場を、心地よく開放感あふれる空間に仕上げました。「SALON」では今後、恵比寿に集まるさまざまな共創パートナーと共に、イベントやプロジェクトを通して新しい価値を創造していきます。

また、恵比寿ガーデンプレイス内には「PLUS DESIGN CROSS」のほか、「はたらくをたのしく」をテーマにしたワーク&ライフスタイルショップ「ouchi GARAGE（おうちガレージ）」や、ワンランク上の在宅ワークスペースづくりのヒントが見つかるワークスタイルショップ&ショールーム「CREATORE with PLUS」（→P.24）など、一般の方も気軽に足を運んでいただき、実際の製品・サービスを体感いただける店舗を設けています。

プラスグループはこれからも、多種多様な人材、文化、生活、ビジネスが集積する恵比寿という街を舞台に、さまざまな価値観に触れながら社会課題解決へ取り組み、また地域とのコミュニケーションを深めることで、恵比寿ならではの共創活動を発信していきます。

共創空間「SALON」

開放的なテラススペース

「ouchi GARAGE」

2 「教育支援」「環境保全」「文化・地域交流」による地域貢献活動の推進

ベトナム学生対象の奨学金制度

プラス株式会社は1995年に業界に先駆けてベトナムに事業展開し、全額出資のベトナム現地法人PLUS VIETNAM INDUSTRIAL CO., LTD.（ベトナム：ドンナイ省、以下「PVI」）を設立しました。現在では2,000名を超える現地社員と共に、成長するステーショナリー事業を製造面で支えています。

その長年のご支援に対する感謝を込めて、ベトナムの若い優秀な人材の輩出に少しでもお役に立ちたいとの想いから、「日越友好40周年」の節目の年である2013年、ベトナムの大学生および小学生を対象とした奨学金制度を設立しました。本制度は、留学生の受け入れに熱心に取り組まれている青山学院大学との提携により、同学のベトナム人留学生を支援する「PLUS・AGU ベトナムスカラーシップ」と、PVIを窓口にベトナム国内の小学生を支援する「PLUS Vietnam Scholarship」の2つのプログラムを実施しています。

「PLUS・AGU ベトナムスカラーシップ」奨学金授与式

2022年度は、青山学院大学に在学中の留学生4名を奨学生として決定しました。2023年2月2日、恵比寿ガーデンプレイス「PLUS DESIGN CROSS」にて奨学金授与式を行い、証書を授与しました。当日は、資料を交え、とてもきれいな日本語で日本での生活についてスピーチをしてくださいました。日本で得たたくさんの知識や経験をベトナムに持ち帰って今後に活かしていただきたいと思います。

- **対象人数：**2022年度 4名
- **対象者：**青山学院大学ベトナム人留学生
- **支給内容：**750,000円／1名
- **支給開始：**2022年10月

「PLUS Vietnam Scholarship」奨学金授与式

2022年度も100名の奨学生を決定しました。2022年10月11日にVinh Cuu（ヴィンクー）県、14日にLong Khanh（ロンカイン）市にて奨学金授与式を行いました。授与式では子どもたちの代表からお礼のスピーチに加え歌や踊りも披露されました。その様子は現地の新聞やテレビでも取り上げられました。

- **対象人数：**2022年度 100名
- **対象者：**ドンナイ省の小学生

※ ドンナイ省内の2県を選定し、教育推進協会より対象県内の小学校へ奨学金制度について通知。PVIで制定した本制度運用ルールに基づき、授与対象奨学生を選定し、教育推進協会の協力の下、奨学金授与式を開催しています。

- **支給内容：**200万ドン／1名（日本円換算：約10,000円）、プラス文房具ギフトセット、お菓子
- **支給開始：**2022年8月

国際ユース作文コンテストへの協賛

2022年11月、「国際ユース作文コンテスト」（公益財団法人五井平和財団主催）にプラス株式会社の製品を寄贈しました。

「国際ユース作文コンテスト」は、平和の文化と持続可能な地球社会を築いていくうえで、子どもや若者たちのエネルギーと創造性、自発性を活かすとともに、あらゆる世代の人々が彼らの発想から学び、より良い世界のために何ができるか、それぞれ考え、行動することを奨励する目的で2000年から毎年開催されており、プラス株式会社は2018年より本コンテストに協賛しています。

今後も本コンテストへの協賛を通じて持続可能な開発のための教育活動に貢献してまいります。

ハシレ!エンピツケズリ!
（子どもの部 入選副賞）

チームデミ
（若者の部 入選副賞）

エアインスイット
（若者の部・子どもの部 佳作副賞）

企業訪問学習・工場見学の受け入れ

プラス株式会社は、次世代の子どもたちのキャリア教育を支援するため、企業訪問や工場見学の受け入れを行っています。

2022年12月、「ancora（アンコーラ）」※銀座本店に神奈川県伊勢原市の自修館中等教育学校より18名にお越しいただき、中高生の万年筆体験学習を実施しました。当日は、万年筆の構造や仕組み等の基礎知識について説明を行った後、一人ひとりに好きな色のインクをお選びいただき、実際の万年筆にインクを吸引する流れを体験いただきました。完成した万年筆は、当社の文具製品とあわせてお土産としてお渡ししました。万年筆にあまり馴染みがない生徒の皆さんに万年筆の仕組みやインク選びの楽しさを知っていただき、手書きの良さをお伝えする機会となりました。

また2021年8月より、オンラインで企業訪問を体験していただけるプログラムを開始しました。この「オンライン企業訪問」では、ライブカメラによるオフィス内のご案内、会社・事業説明、製品開発担当者へのインタビューおよび製品開発に関する参加者へのヒアリングなど、実際に当社に来社いただく場合と同等のプログラムをご用意しています。2022年度は計2校、32名にご利用いただきました。

加えて、オフィス家具を製造する前橋工場も地域の学校の工場見学を受け入れています。2022年度は計8校、72名に家具の製造工程を見学いただきました。

※ 2021年3月にセーラー万年筆株式会社と共同で立ち上げたD2Cブランド。デジタル化・ICT化が急激に進む一方で、リアルコミュニケーションやアナログへの回帰というニーズに注目し、自分の字で「書く」、思いをこめて「描く」の価値を見直し、文房具の持つ「愉しさ」「こだわり」「驚き」を提供するショップブランドです。

「プラス クリーンフェス 2022」の実施

「社会・環境への貢献」「周辺地域の美化」「社員のサステナビリティへの参加意識向上」を目的に、2015年3月より、本社・虎ノ門オフィス周辺の清掃活動をスタートしました。また、群馬県前橋市にあるプラスランド敷地内を流れる神沢川や工場外周の清掃活動「神沢川クリーン計画」も、前橋工場スタッフを中心に1993年より毎年実施しています。

2016年にこれらの活動を統合、2017年にプラスグループの清掃活動「プラス クリーンフェス」に名称変更するとともに、国内拠点だけでなく海外拠点にも規模を拡大して活動を開始しました。

2019年度は国内グループ各社25か所、海外グループ各社6か所（ベトナム、中国2拠点、台湾、ドイツ、アメリカ）計31か所、総勢900名以上の社員が参加し、過去最大規模での実施となりました。2022年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国内グループ各社10か所、海外グループ各社3か所（中国2拠点、ベトナム）計13か所、約300名にて感染予防対策を徹底し、社員の安全を確保したうえで実施しました。

「プラス クリーンフェス 2022」の様子

3 事業活動を通じた地域社会への貢献

災害時の物資供給による地域貢献

2022年10月、プラス株式会社 ジョインテックスカンパニーは、宮城県岩沼市と「災害時等における物資供給に関する協定」を締結しました。本協定では、近年の全国における自然災害の発生状況等を踏まえ、岩沼市域内で地震・津波・大雨等による災害が発生、または発生するおそれがある場合、岩沼市からの要請を受け、ジョインテックスカンパニーが必要な物資の供給を行うことを定めています。8月に岩沼市に開設した物流拠点「ジョインテックス東北センター」では避難所生活で必要となる衛生用品なども豊富に保管しており、その物流インフラ機能が高く評価され、締結に至りました。

これまでもジョインテックスカンパニーは、2015年10月に、国土交通省中部地方整備局と「大規模災害時における物品等調達に関する協定書」を締結しています。これは大規模災害発生時、国土交通省中部地方整備局より緊急物資提供の協力要請があった場合、「ジョインテックス中部センター」（愛知県大府市）に保管しているコピーペーパー、アルカリ乾電池、油性マーカー、ごみ袋、懐中電灯など9品目について、可能な範囲で供給を行うものです。また、2017年3月には、東京都杉並区と「災害時等における緊急用資機材等の提供に関する協定」を締結。被災時に全国から届けられる支援物資を迅速かつ的確に被災者に届けるため、テントや物資拠点用バルーンテントといった避難所運営のための資機材を提供することを約束しています。

今後も地域との連携を深め、非常時における物資供給を通して、地域の活性化と持続的な発展に貢献していきます。